

# B

## 社会経済の持続可能性

### 基本施策とアクションプラン

弟子屈町の町民や事業者が、安定した雇用や収入を得て、暮らしやすい社会サービスの実現と、経済的利益の分配につながる観光産業を目指します。観光ではできる限り地産地消を推奨し、地元ならではの魅力を地域経済へと還元していく取り組みを推進します。

摩周メロンや摩周そばなどの特産品や豊富な温泉など、町内の資源を最大限活用し、地域産業と観光が地域内で繋がり循環していく経済を築くことが、弟子屈町における持続可能な経済の発展に繋がります。

社会経済の持続可能性の実現により、観光で外貨を獲得し、地域経済を支える基幹産業として雇用と経済循環を生み出している状態を目指します。

### 基本施策Ⅰ 地域資源を活かした観光地拠点整備

ハードとソフトの両面から温泉街や観光拠点の整備を進めることで、地域の魅力向上と活性化を目指します。



- B-AP1 川湯温泉街まちづくりマスタープランの推進による魅力向上
- B-AP2 観光拠点の活性化
- B-AP3 摩周温泉街の魅力向上



川湯温泉のロゴマークをあしらった提灯



温泉川と「川湯岩盤テラス」

## 基本施策Ⅱ 地産地消の推進

弟子屈町内の経済循環の創出を図るため、豊かな食の魅力を活かした名産品化および地産地消の取り組みなどを実施します。地域内の消費を促進することで輸送にかかる環境負荷や経済コストを軽減するだけでなく、災害などの非常時にも強い地域づくりを目指します。



**B-AP4** 豊かな食の魅力を活かした名産品化の取り組み支援による付加価値の向上

**B-AP5** 地元食材の活用など域内循環率向上の促進



摩周そば

## 基本施策Ⅲ 観光産業に携わる働きがいの醸成と雇用機会

弟子屈町の観光産業に携わる方々がより働きやすく、働きがいを感じられる環境づくりに繋がる取り組みを実施します。



**B-AP6** 観光産業に携わりたい人を増やす雇用環境の整備

## 基本施策Ⅳ 多様な受入環境の整備

年齢、性別、文化、身体状況など、人々のさまざまな個性や違いにかかわらず、誰もが訪れやすい観光地としてユニバーサルデザインを推進します。また長期滞在を促し、旅行者にも町民にも暮らしやすいまちづくりを推進します。



**B-AP7** 誰もが安心して過ごせるユニバーサルデザインの普及

**B-AP8** 長期滞在を促進する受入体制の整備

B-AP  
1

B 社会経済の持続可能性 > 基本施策 I 地域資源を活かした観光地拠点整備

## 川湯温泉街まちづくりマスタープランの推進による魅力向上

対応 JSTS-D

古くからアイヌの人々に親しまれ、明治の頃からは湯治場としても栄えた名湯、川湯温泉。しかし観光の主流が団体客から個人客へと変化していく中、多くの宿泊施設が閉館しました。

今、川湯温泉では国立公園満喫プロジェクトによる廃屋撤去が進み、2023年に策定された川湯温泉街まちづくりマスタープランに沿って再整備が進められています。かつての賑わいをそのまま再現するのではなく、静けさを価値とした国立公園内に灯をともし、新しい魅力ある温泉街を創出していくことで、町に活気を呼び戻します。



### 実現に向けた具体的なアクション

- 温泉街の景観改善
- 温泉川を中心とした温泉街の清掃と維持管理
- 既存事業者の振興策の実施
- 情報発信
- 新規宿泊施設および商業事業者の誘致
- アトサヌプリの面的整備



今日からできる  
町民アクション

- 川湯温泉の日帰り入浴を利用する
- 川湯温泉の商店や飲食店を利用する
- 温泉川の清掃イベントに参加する

JSTS-D  
B3

JSTS-D  
B4

JSTS-D  
B8

JSTS-D  
A11

### 主に誰が事業を実施していくか

#### 所管

- ・弟子屈町（観光商工課）
- ・環境省

#### 連携

- ・阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会
- ・摩周湖観光協会（DMO）

#### 協力

- ・観光事業者

B-AP  
2

B 社会経済の持続可能性 > 基本施策 I 地域資源を活かした観光地拠点整備

## 観光拠点の活性化

対応 JSTS-D

弟子屈町を代表する主要な観光スポットである摩周湖およびアトサヌプリ（硫黄山）では、2022～23年にかけてレストハウスの全面的なリニューアルが行われました。訪れる旅行者の満足度をさらに向上させるためには、ソフト面での一層の改革が求められています。

各観光拠点の多言語化や案内看板などを充実させることと並行して、町内の観光拠点を複数巡るための周遊促進の取り組みを進めます。これにより、旅行者の域内滞在時間が延び、施設における消費額の向上が期待されます。



### 実現に向けた具体的なアクション

- 観光拠点の魅力向上プランの策定
- 観光拠点の多言語化や案内看板など環境整備
- 観光拠点の周遊促進



今日からできる  
町民アクション

- SNSを使った写真の投稿
- 摩周湖やアトサヌプリ（硫黄山）への訪問

※町民は5月と8月を除き、駐車料が無料です（身分証を提示）。

JSTS-D  
B8

JSTS-D  
A11

### 主に誰が事業を実施していくか

#### 所管

- ・弟子屈町振興公社
- ・弟子屈町（観光商工課）
- ・摩周湖観光協会（DMO）

#### 連携

- ・環境省
- ・北海道
- ・自然公園財団

## 摩周温泉街の魅力向上

対応 JSTS-D

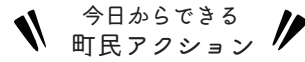
明治18年開湯で、道東最古の湯といわれる摩周温泉。しかし平成19年頃よりホテルの閉館が続き、廃屋となったホテルが景観を損ねています。現在計画が進められている中心市街地の新たな複合施設を中心とした「中心市街地再構築全体構想」を推進するとともに、廃ホテルの撤去や新規宿泊施設の誘致などを通し、観光地としての魅力を向上させる取り組みを継続的に実施します。

道の駅摩周温泉では、中心市街地からの旅行者の導線を考え、魅力向上や受入環境整備などのリニューアルや、効果的な情報発信を行っていきます。



## 実現に向けた具体的なアクション

- 中心市街地再構築全体構想の推進
- 新規宿泊施設および商業事業者の誘致
- 既存事業者の振興策の実施
- 摩周温泉街に関する情報発信
- 道の駅摩周温泉の魅力向上、受入環境整備

今日からできる  
町民アクションJSTS-D  
B3JSTS-D  
B8

- 摩周温泉の日帰り入浴を利用する
- 道の駅摩周温泉を利用する
- SNSでの魅力発信（#摩周温泉）

## 主に誰が事業を実施していくか

## 所管

- ・ 弟子屈町  
（まちづくり政策課、観光商工課）
- ・ 弟子屈町商工会
- ・ テシカガまちなかデザイン
- ・ テシカガタウンラボ

## 連携

- ・ 摩周湖観光協会（DMO）
- ・ みちえき摩周直売会
- ・ てしかがえこまち推進協議会

## 豊かな食の魅力を活かした名産品化の取り組み支援による付加価値の向上

対応 JSTS-D

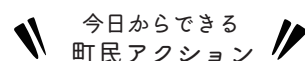
冬と夏の気温差が60℃以上にもなる弟子屈町は、寒暖差のもたらす甘みの強い農産物や、摩周和牛や弟子屈ポークといった畜産物、生乳、温泉熱を活かした果実栽培、湖の恵みである水産資源などに恵まれています。町内では、このような弟子屈産の食材を使ってさまざまな特産品が開発・販売されています。

これらの商品について、地元の食材を使っていることを分かりやすく掲示し、より多くの方に知っていただくことを目指し、特産品認定制度の確立と運用を進めます。



## 実現に向けた具体的なアクション

- 特産品認定制度の確立
- 特産品認定制度の運用
- 地元産商品の販売促進

今日からできる  
町民アクションJSTS-D  
B3

- 弟子屈産の食材を購入する

## 主に誰が事業を実施していくか

## 所管

- ・ 弟子屈町商工会
- ・ 弟子屈町（農林課、観光商工課）
- ・ JA 摩周湖
- ・ 事業者

## 連携

- ・ 摩周湖観光協会（DMO）
- ・ 料飲店組合

## 連携

- ・ みちえき摩周直売会

地元で採れたものを地元で使う地産地消を進めていくことは、移送にかかるコストや地球へのインパクトを軽減する「フードマイレージ\*の削減」や、地域内での取引が増えることによる「経済循環の促進」、災害時に強いまちづくりの礎となる「自給率の向上」など多くのメリットがあります。旅行者にとっても、その土地の食材を味わうことは旅の楽しみのひとつ。おいしい食は満足度の向上や再訪意欲につながる大切な要素です。より多くの事業者が地元食材を積極的に活用できるよう、まずは実態とニーズを丁寧に調査し、地産地消の強化に向けた仕組みづくりを推進します。

\* フードマイレージ：用語解説 p.59 参照



#### 実現に向けた具体的なアクション

- 弟子屈産食材利用に関する事業者の実態調査
- 事業者実態調査に基づく、弟子屈産食材利用促進



#### 今日からできる 町民アクション

JSTS-D  
B3

- 弟子屈産食材を使って料理する
- 弟子屈産食材を積極的に使っている飲食店を利用する

#### 主に誰が事業を実施していくか

##### 所管

- ・ 弟子屈町（農林課、観光商工課）
- ・ JA 摩周湖
- ・ 弟子屈町商工会

##### 連携

- ・ 摩周湖観光協会（DMO）
- ・ 料飲店組合
- ・ てしかがえこまち推進協議会

##### 協力

- ・ みちえき摩周直売会

IT 化が進み、工学技術が発達しても機械化できないのが観光産業です。働く人の環境を整え、生きがいを持って働ける職場づくりは観光業にとって何より大切なことです。高い離職率や人材不足は、単に新たな働き手を確保するだけでは解決できません。今、観光の現場で本当に困っていることは何か、雇用や働きがい、経営に関して何が必要とされているのか、現状をしっかりと把握し、働きやすい職場づくりを支援していきます。また、働く方々の住宅確保の対策も進めていきます。



#### 実現に向けた具体的なアクション

- 観光事業者の困りごと・雇用や働きがい・経営に関する実態調査の実施
- 各種研修会の開催
- 働きやすく活躍できる雇用形態の検討
- 従業員用住宅の確保



#### 今日からできる 町民アクション

JSTS-D  
B2

- 小売店、飲食店、宿泊施設などでの気持ちのいい対応には、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える

#### 主に誰が事業を実施していくか

##### 所管

- ・ 弟子屈町商工会
- ・ 摩周湖観光協会（DMO）
- ・ 弟子屈町（観光商工課）

##### 連携

- ・ 川湯温泉旅館組合

##### 協力

- ・ 各観光事業者

## 誰もが安心して過ごせるユニバーサルデザイン（※）の普及

対応 JSTS-D

多様な人々が暮らす現代において、今後も高齢者や障がいのある方、さまざまなニーズを持つ方への対応が求められています。全ての人に使いやすいデザイン（ユニバーサルデザイン：以下、UD という）の普及は観光地の責務であると同時に、町民にとっても「暮らしやすいまち」の実現に繋がります。

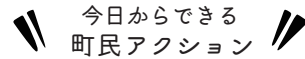
UD の理解促進と普及に加え、観光地として「できること」と「できないこと」の正確な情報発信を行います。

※ユニバーサルデザイン（UD）…年齢、性別、文化、身体状況など、人々のさまざまな個性や違いにかかわらず、最初から誰もが利用しやすく、暮らしやすい社会となるよう、まちや建物、モノ、仕組み、サービスなどを提供していかうとする考え方のこと。



## 実現に向けた具体的なアクション

- UD に対する現状、問題点の把握
- UD 情報の発信
- UD の考え方を踏まえた施設のバリアフリー化改修に対する補助制度の創設など普及促進の仕組みづくり
- UD に関する理解の促進

今日からできる  
町民アクションJSTS-D  
B8

- 困りごとがありそうな旅行者への声かけ
- 使いやすさに対するアイデアや意見を届ける  
(窓口：弟子屈町役場 福祉課)

## 主に誰が事業を実施していくか

## 所管

- ・ 弟子屈町  
(観光商工課、福祉課、建設課)
- ・ てしかがえこまち推進協議会

## 連携

- ・ 摩周湖観光協会 (DMO)

## 協力

- ・ 各観光事業者

## 長期滞在を促進する受入体制の整備

対応 JSTS-D

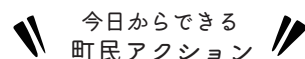
避暑地としての実績を持つ道東において、リモートワークの普及は地方の優位性をさらに高めました。「暮らすように旅する」という新たな価値観が、滞在スタイルや暮らし方の変容をもたらしています。弟子屈町にとって長期滞在者の増加は、地域に活気をもたらす「交流人口」の拡大に繋がる重要な要素です。施設の整備や滞在プログラムの造成など、ソフトとハードの両面から、長期滞在しやすい受入環境の整備を進めます。



## 実現に向けた具体的なアクション

- 長期滞在プログラムの造成
- 長期滞在の施設整備に対する支援の充実
- Wi-Fi 環境の充実
- コワーキングスペース\*の充実

\* コワーキングスペース：用語解説 p.58 参照

今日からできる  
町民アクションJSTS-D  
B8JSTS-D  
A11

- 長期滞在の旅行者と出会う機会があればあいさつや声かけを行う

## 主に誰が事業を実施していくか

## 所管

- ・ 弟子屈町 (観光商工課)
- ・ 各観光事業者

## 連携

- ・ 弟子屈町商工会
- ・ 摩周湖観光協会 (DMO)